

【総合型選抜（I期）事前課題】（生活創造学科のみ）

以下の課題内容をよく読み、本学所定の様式に入力または直筆のうえ提出してください。

「人口減少」について知ること、考えること、自分の言葉で説明することを求めます。

以下の文をよく読み、また、文献等を参照し、課題に取り組んでください。

総務省統計局の人口統計によると、2020年の人口は、1億2566万9千人であり、前年に比べ49万2千人減少しました。また、厚生労働省の人口動態統計にみる、2019年の出生数は、過去最少の86万5,234人となり、前年より5万3,166人の減少となりました。15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計した合計特殊出生率は、1.36となり、少子化が止まらない状況です。

少子化が進むと、総人口の減少が起きます。2008年をピークに、日本は人口減少時代を迎えており、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、2050年には日本の総人口は1億人を下回ることが予測されています。

では、人口減少は私たちの生活にどのような影響を及ぼすのでしょうか。労働者不足を招き、社会の活力が失われ、経済成長が鈍くなる等、様々なリスクが指摘されています。その一方、地球環境や食糧・エネルギーの有限性という点において、人口減少には、メリットがあるという言説も見られます。つまり、私たちは今、様々な観点から「人口減少」問題を探り、真剣な議論を重ねていく時期を迎えていると言えます。

*統計は以下からの引用

総務省統計局 <https://www.stat.go.jp/index.html>

厚生労働省統計一覧 <https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/index.html>

国立社会保障・人口問題研究所研究事業年報 <http://www.ipss.go.jp/index.html>

【課題内容】

少子化が進み、日本の総人口が減少することに関して、あなたはどのように考えますか。「人口減少」という事象を多角的に捉え、懸念、弊害、特徴、利点などについて、600字程度にまとめてください。

なお、本テーマに関して、推奨文献を紹介します。適宜、入手し、学びを深めてほしいと思います。これ以外の文献を参照しても構いません。いずれの場合も、参考にした文献を事前課題に記載してください。

推奨文献は下記のとおりです。

- | |
|--|
| ① 『愛と希望の「人口学講義」』 鬼頭宏 著
ウエッジ選書（1,540円税込、2015年11月）ISBN：9784863101586 |
| ② 『人口減少と社会保障－孤立と縮小を乗り越える』 山崎史郎 著
中公新書（968円税込、2017年9月）ISBN：9784121024541 |
| ③ 『武器としての人口減社会－国際比較統計でわかる日本の強さ』 村上由美子 著
光文社新書（814円税込、2016年8月）ISBN：9784334039370 |